

機械器具 24 知覚検査又は運動機能検査用器具  
一般医療機器 体表面刺激用プローブ (JMDN コード: 36957001)

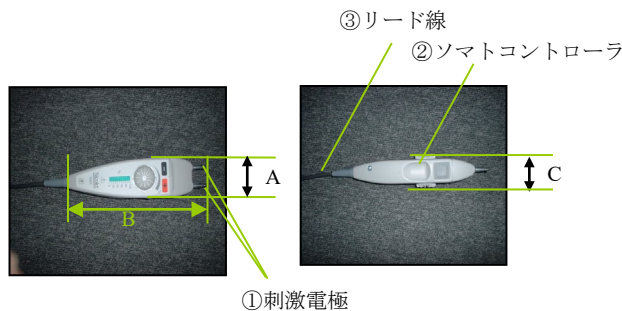
## 電気刺激プローブ (S403)

### 【禁忌・禁止】

1. 本品は当社指定品以外には使用しないこと。
2. コネクタが確実に接続されているか、確認すること。

### 【形状・構造及び原理等】

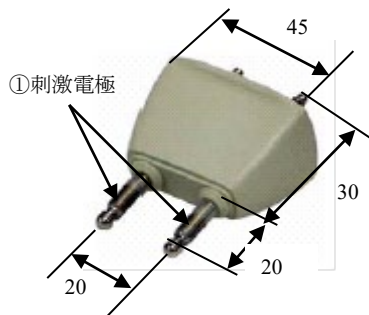
#### 1. 形状及び寸法



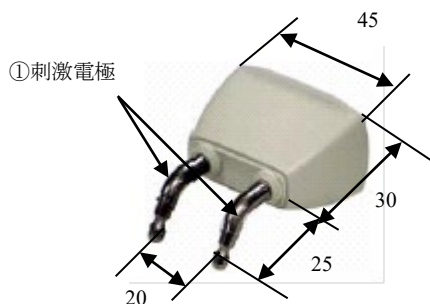
寸法単位: mm  
寸法公差: ±10%

| 品番         | A の寸法 | B の寸法 | C の寸法 | リード長 |
|------------|-------|-------|-------|------|
| 842-115000 | 45    | 180   | 27    | 2210 |

#### \*\* (1) プローブヘッド 033-406001

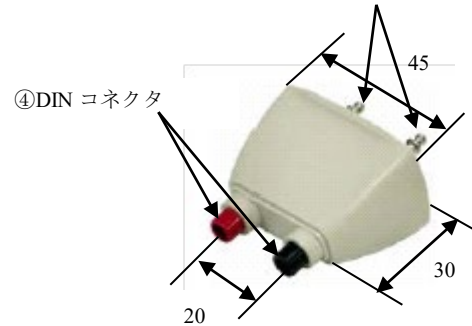


#### (2) カーブチップ刺激プローブヘッド 033-407100 (オプション)



#### \*\* (3) 電極インพุットプローブヘッド 033-409501 (オプション)

① 刺激電極: ステンレススチール



#### 2. 作動原理

当社指定の筋電計、誘発反応測定装置と組み合わせることにより、刺激強度や刺激の ON, OFFなどを制御する。

#### 3. 使用環境

周囲温度範囲: 10℃～40℃  
相対湿度範囲: 30%～85%

### 【使用目的又は効果】

本品は、筋電計等と接続して被験者の腕、脚等に電気刺激を加えることにより、その反応電位を検査するための電気刺激用のプローブである。

### 【使用方法等】

- (1) 当社指定の電気刺激プローブ接続部に確実に接続すること。
- (2) プローブの先端に塗布する電解ゲルが多くならないようにして、皮膚の抵抗やアーチファクトを低減するようにしてください。
- (3) 刺激プローブを刺激部位に固定して、直接被験者に刺激を与えます。
- (4) 電極(プラスとマイナス)を切り替えるには、刺激プローブを裏返します。
- (5) リモートモードで操作しているときは、プローブの刺激強度ダイヤルは、最大刺激強度0～100%の範囲内で調整することができます。
- (6) プッシュボタンは、プローブの両側に付いています。当社指定の筋電計あるいは誘発反応測定装置を単一刺激モードで操作しているときに、どちらかのボタンを押すと、被験者に単一刺激を与えることができます。

### 【使用上の注意】

- (1) 診断、治療に必要な時間、刺激強度を超えないように注意すること。
- (2) 検査機器全般及び被験者に異常の無いことを絶えず観察すること。
- (3) 検査機器に被験者が触れることのないよう注意すること。
- (4) 本装置の接続や取り外しは、必ず電源を切り、電源コードをACコンセントから外した状態で行うこと。
- (5) プローブの先端に塗布する電解ゲルが多くならないようにして、皮膚の抵抗やアーチファクトを低減するようにしてください。

**【保管方法及び有効期間等】****＜貯蔵・保管方法＞**

- (1) 水のかからない場所に保管すること。
- (2) 気圧・湿度・温度・風通し・日光・ほこり・塩分・硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響の生じる恐れのない場所に設置すること。傾斜・振動・衝撃（運搬時を含）など安全状態に注意すること。
- (3) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。

**【保守・点検に係る事項】**

保守点検は次の点に注意すること。

- \*\* (1) 刺激電極部分と接続ケーブルは必ず使用前に点検し、摩損、その他の損傷がないことを確認すること。
- (2) しばらく使用しなかった刺激装置を使用する場合は、使用前に必ず正常にかつ安全に動作することを確認すること。

**【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】****＜製造販売業者＞**

ガデリウス・メディカル株式会社

電話：042-769-3221

**\* ＜製造業者＞**

ネイタス・ニューロロジー社（米国）

（Natus Neurology Incorporated）